



2021年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年12月14日

上場会社名 株式会社フィット 上場取引所 東
 コード番号 1436 URL <https://www.fit-group.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 鈴江 崇文
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理統括部長（氏名） 柳橋 健一 (TEL) 050(6868)2673
 四半期報告書提出予定日 2020年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第2四半期の業績（2020年5月1日～2020年10月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	2,751	48.5	163	465.8	158	599.9	99	733.9
2020年4月期第2四半期	1,852	16.8	28	—	22	—	11	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	23.51	23.50
2020年4月期第2四半期	2.78	2.78

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	7,983	4,294	53.8
2020年4月期	7,586	4,289	56.5

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 4,294百万円 2020年4月期 4,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年4月期	—	0.00			
2021年4月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	9.8	220	39.3	200	40.5	170	114.9	39.90

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年4月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大による影響について、現時点において当社が把握している情報をもとに算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年4月期2Q	4,282,800株	2020年4月期	4,282,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年4月期2Q	93,370株	2020年4月期	21,800株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年4月期2Q	4,218,119株	2020年4月期2Q	4,282,800株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いております。また、個人消費においても外出自粛の影響などにより大幅に落ち込むこととなり、経済の動向や企業業績に与える影響懸念等、今後の景気動向については不透明さが増す状況が続きました。

このような状況下におきまして、当社は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、できるだけ接触を避けたいというニーズもあり、「オンラインセミナー・商談会」やスマートホーム事業では、人に会わなくてもモデルハウス見学や住宅購入に関するご相談が気軽にできる非接触型案内 無人IoTモデルハウス「スマート内覧会」サービス、さらに自宅から住宅相談ができる「オンライン相談窓口」も開設し営業展開をしております。

事業セグメントとしては「クリーンエネルギー事業」「スマートホーム事業」「ストック事業」に分けて活動を行っております。

各セグメントの事業環境は下記のとおりであります。

a. クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業につきましては、政府方針の「2050年のカーボンニュートラル実現」、「地域活性化に資する分散電源化」のための再生可能エネルギーの導入促進の支援やSDGs、ESG投資によるサステナブルファイナンスやグリーンボンドを通して、持続可能な社会の実現のため再生可能エネルギー市場への投資は、今後加速度的に拡大する見通しです。

b. スマートホーム事業

スマートホーム事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による環境の変化をきっかけとして、家族が揃って自宅で過ごす時間が増えたこと並びにテレワークの機会が増えたことにより、ワークスペースを確保したいなどの住まいに対する新たなニーズに応えることが容易な戸建住宅が注目されることとなり、引き続き、規格住宅「IETERRACE (イエテラス)」並びに「SIMPLIE (シンプリエ)」、規格戸建賃貸住宅「FITCELL (フィットセル)」を中心に展開してまいりました。

c. スtock事業

販売したクリーンエネルギー発電所やスマートホームの管理等を中心に展開しております。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間において、クリーンエネルギーとスマートホームの各事業で積み上げてきた顧客基盤を最大限に活用したストック型ビジネスの強化をしております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,751,677千円（前年同四半期比48.5%増）、営業利益163,592千円（前年同四半期比465.8%増）、経常利益158,418千円（前年同四半期比599.9%増）、四半期純利益99,187千円（前年同四半期比733.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業では販売区画数は、89.90区画（内、新規81.24区画、セカンダリー8.66区画）（前年同四半期41.22区画（内、新規35.93区画、セカンダリー5.29区画））となりました。

以上の結果、クリーンエネルギー事業の売上高は1,255,884千円（前年同四半期比73.8%増）、セグメント利益は199,612千円（前年同四半期比80.3%増）となりました。

b. スマートホーム事業

スマートホーム事業では、販売棟数は56棟（前年同四半期37棟）となりました。

以上の結果、スマートホーム事業の売上高は1,068,829千円（前年同四半期比59.3%増）、セグメント利益は7,048千円（前年同四半期はセグメント損失52,180千円）となりました。

c. スtock事業

Stock事業の売上高は426,963千円（前年同四半期比7.0%減）、セグメント利益は130,757千円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は6,689,915千円(前事業年度末6,595,330千円)となり、94,584千円増加しました。主な要因は、現金及び預金が425,784千円、仕掛品が273,960千円、それぞれ増加した一方で、製品が411,351千円、販売用不動産が245,750千円、それぞれ減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は1,293,400千円(前事業年度末990,943千円)となり、302,457千円増加しました。主な要因は、有形固定資産が302,973千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は2,190,058千円(前事業年度末2,142,091千円)となり、47,966千円増加しました。主な要因は、短期借入金が50,000千円、流動負債のその他が113,813千円、それぞれ増加した一方で、買掛金が56,720千円、前受金が59,395千円、それぞれ減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は1,499,060千円(前事業年度末1,154,494千円)となり、344,566千円増加しました。主な要因は、長期借入金が450,697千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は4,294,197千円(前事業年度末4,289,687千円)となり、4,509千円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上により99,187千円増加した一方で、配当金の支払いにより42,610千円、利益剰余金が減少したこと、並びに自己株式を52,073千円取得したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、2021年4月期の業績予想につきましては、2020年6月26日付「2020年4月期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更ございません。今後、業績見通しに変更が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,152,621	1,578,405
売掛金	519,541	608,151
販売用不動産	1,273,297	1,027,547
製品	1,699,942	1,288,591
仕掛品	779,601	1,053,561
材料貯蔵品	66,061	6,212
前渡金	935,983	1,008,459
その他	168,281	118,986
流動資産合計	6,595,330	6,689,915
固定資産		
有形固定資産	316,301	619,274
無形固定資産	49,397	33,200
投資その他の資産		
その他	641,129	667,068
貸倒引当金	△10,250	△20,507
投資損失引当金	△5,635	△5,635
投資その他の資産合計	625,244	640,925
固定資産合計	990,943	1,293,400
資産合計	7,586,273	7,983,316
負債の部		
流動負債		
買掛金	469,234	412,514
1年内返済予定の長期借入金	129,605	110,340
短期借入金	1,000,000	1,050,000
未払法人税等	51,419	61,668
前受金	263,899	204,503
賞与引当金	25,393	32,034
完成工事補償引当金	11,910	15,538
資産除去債務	983	—
その他	189,645	303,458
流動負債合計	2,142,091	2,190,058
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	587,415	1,038,112
資産除去債務	288	289
その他	466,791	360,659
固定負債合計	1,154,494	1,499,060
負債合計	3,296,586	3,689,119

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,822	979,822
資本剰余金	949,809	949,809
利益剰余金	2,373,490	2,430,068
自己株式	△13,430	△65,503
株主資本合計	4,289,692	4,294,197
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△4	—
評価・換算差額等合計	△4	—
純資産合計	4,289,687	4,294,197
負債純資産合計	7,586,273	7,983,316

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
売上高	1,852,527	2,751,677
売上原価	1,224,187	2,006,432
売上総利益	628,339	745,245
販売費及び一般管理費	599,428	581,652
営業利益	28,911	163,592
営業外収益		
受取利息	387	61
還付加算金	3,232	5
為替差益	—	3,070
その他	651	1,180
営業外収益合計	4,271	4,317
営業外費用		
支払利息	8,218	8,590
社債利息	528	393
その他	1,802	508
営業外費用合計	10,549	9,491
経常利益	22,633	158,418
特別損失		
減損損失	—	10,970
特別損失合計	—	10,970
税引前四半期純利益	22,633	147,448
法人税、住民税及び事業税	12,837	51,852
法人税等調整額	△2,098	△3,591
法人税等合計	10,738	48,260
四半期純利益	11,894	99,187

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。